



感染対策だより

院内感染対策委員会発行：第 77 号 令和 7 年 5 月発行

長崎県で百日咳報告増加

百日咳は主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症。

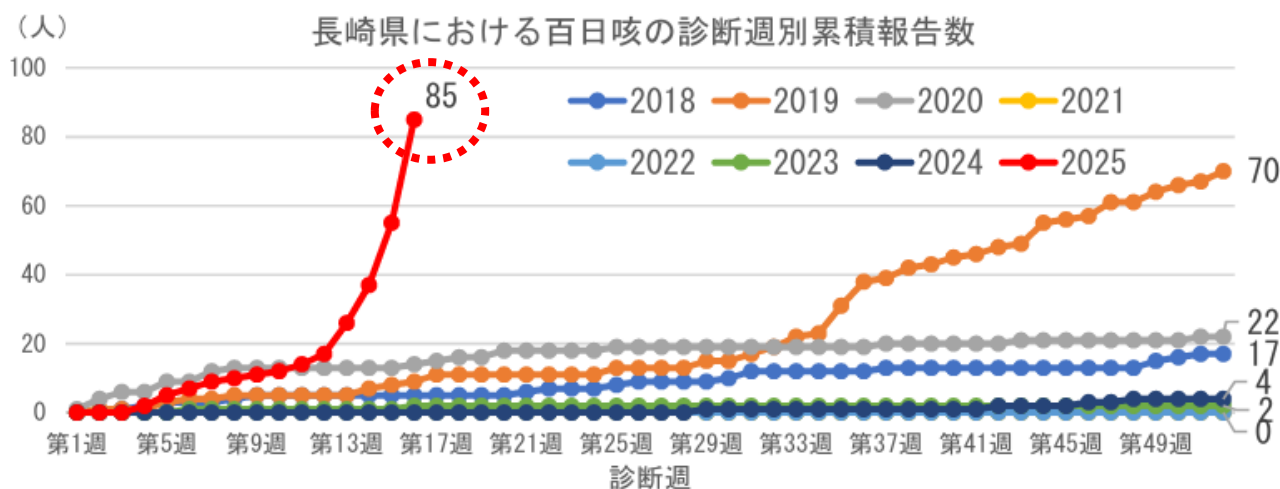
潜伏期：通常 5～10 日

症状：かぜ様症状で始まる。次第に咳の回数が増え程度も激しくなる。夜間の咳発作が多いことが特徴。回復までに 2～3 か月かかることもある。乳児では肺炎・脳症を合併し、重症化することもある。

感染経路：飛沫感染

ワクチンの定期接種により発生数は激減していましたが、2025 年は第 16 週までに 85 件の報告があり、全数把握疾患となった 2018 年以降において、最多の報告数となっています。年代別では 10 代が約 6 割を占めています。

。



咳エチケット、手洗い、手指消毒で
予防につとめましょう。

新人研修を行いました！

標準予防策や経路別予防策、職業感染対策について学びました。

標準予防策とは「すべての人の血液、汗を除く体液、分泌物、排せつ物、創傷のある皮膚、粘膜には感染性がある」として取り扱う考え方です。

その中でも手指衛生や防護具の着用はしっかり身に着けておくべき技術です。

手指衛生



手指消毒のつもりで実施。少し塗り残しあり。 ポスター見ながら手も洗いました。



防護具の着脱



手袋の着脱の様子



エプロンの着脱の様子

N95 マスク



N95 マスクの着用方法やユーザーシールチェックの方法を学んでいるところです。

陽圧チェック

- ①マスクの表面を手で覆う
- ②周囲から呼気が漏れなければOK

陰圧チェック

- ①息を吸ってマスクが顔に吸い付けられればOK



使用時はユーザーシールチェックも忘れずに実施しましょう。

N95 マスクのフィットテストもしました。

N95マスクの正しい着用



着用時は上の紐は頭の上、下の紐は首の後ろに位置するようにしましょう。
なかなか 5%以下の漏れ率までフィットさせるのは難しかったです。

レクチャーの最後に行ったクイズです。みなさんもチャレンジしてみてください！

問題1

標準予防策とは？

- ①感染症のある患者様に適応する予防策
- ②感染症のない患者様にも適応する予防策
- ③重症の患者様に適応する予防策

問題2

手袋をはずした後は？

- ①注意してはずしたので手は汚れていないため手指衛生は省略できる
- ②注意してはずしたけれど、失敗したときだけ手指衛生を行う
- ③上手にはずせたけど手指衛生は行う

問題3

これは何の印？



- ①面会謝絶
- ②感染経路別予防策実施中
- ③誰が面会にこられたか確認するためのメッセージ

①の答え：② 疾患の有無に関わらず、全ての患者に対して標準的に用いることも重要で基本的な感染対策。
②の答え：③ はずすときに汚染している可能性、手袋にピンホールがある可能性、手袋の中の温度と湿度で細菌が増殖している可能性を考慮して必ず手指衛生を行う。
③の答え：② 感染経路別予防策実施中の印です。入室前に必要が防護用具を着用していただき、面会にこられた人にも着用を指導してください。